

令和6年度 第2回 疾病予防対策専門部会

日時 令和7年(2025年)2月27日(木)
場所 江差保健所 2階会議室(ZOOM)

1

1 「減塩」に着目した食に関する指導

- これまで減塩(及び高血圧)について学ぶ機会の少なかった小学生や中学生に対する減塩の意識付けや行動変容につながった。
- 子どもを通じて、親世代へ働きかけることができた。
- 教育部門と行政が地域の健康課題について共通認識を持つことができた。



3

南檜山圏域健康づくり事業行動計画(平成30年度~令和5年度) 最終評価

「10年後、20年後を見据えた健康づくり」をテーマに、圏域の健康課題である「高血圧」及び「糖尿病」に焦点を置き、次世代及び働き世代へのアプローチを重点的に実施。

- 1 「減塩」に着目した食に関する指導
- 2 「南檜山地域で『働く人』と『ご家族』のための健診ガイド」の作成
- 3 糖尿病重症化予防プロジェクトによる保健指導の実施や普及啓発

2

2 南檜山地域で「働く人」と「ご家族」のための健診ガイドの作成

- 南檜山地域・職域連携推進連絡会において作成した。
- 健診ガイドの活用効果については課題(健診の受診につながったか不明等)が残ったが、ワーキングを重ねて実し、作成したことにより「顔の見える関係づくり」ができた。



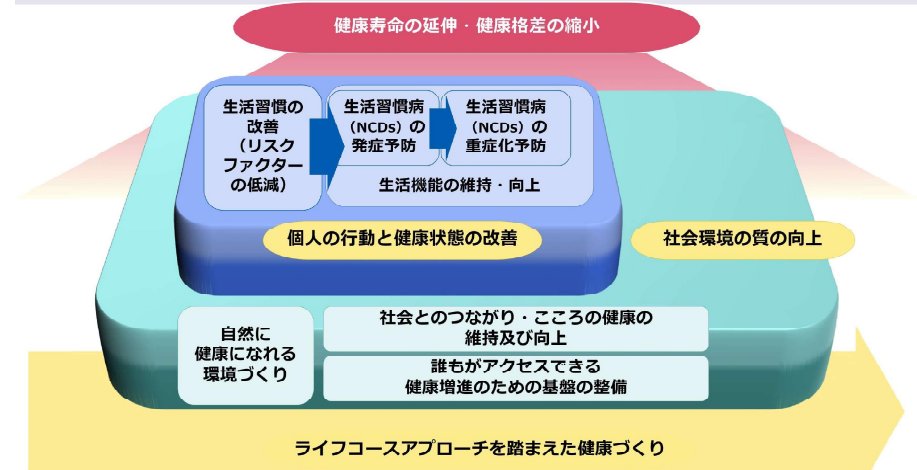
4

3 糖尿病重症化予防プロジェクトによる保健指導の実施や普及啓発

- ・発症後、町栄養士に介入してもらい、病識の獲得や栄養指導の効果を確認できたケースがあった。
- ・本事業のほかに、健診の結果票や糖尿病手帳の活用により、病状に関する情報共有を図ることもできている。
- ・治療と保健事業との相乗効果が見られるよう、医療機関と地域の体制づくりが課題。

健康日本21（第三次）の概念図

全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現のために、以下に示す方向性で健康づくりを進める

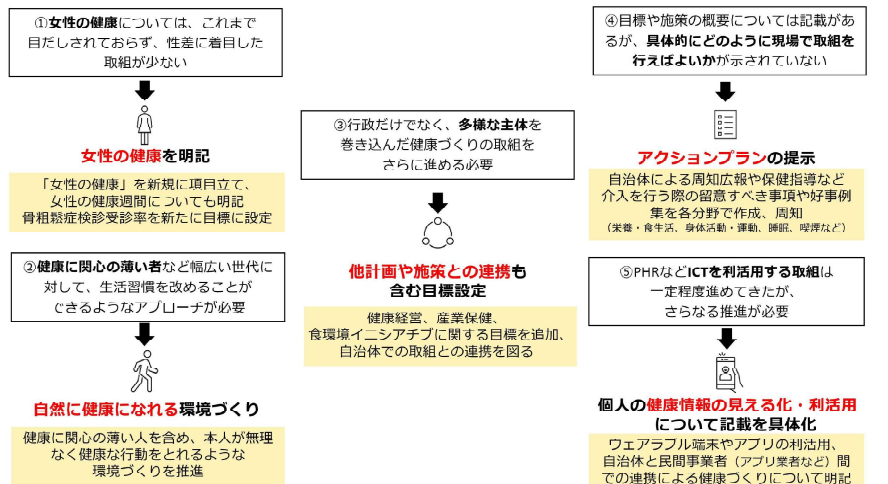


健康日本21（第三次）の基本的概念 と新たな視点について

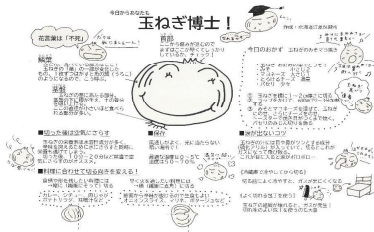


健康日本21（第三次）の新たな視点

○ 「誰一人取り残さない健康づくり」や「より実効性をもつ取組の推進」に取り組むため、以下の新しい視点を取り入れる。



新たな計画を「新たな戦略」で推進する取り組み



9

20歳未満の者の喫煙防止講座

江差保健所職員による寸劇やたばこを勧められた時の断り方のロールプレイを実施（保健の時間を活用）

◎江差町立江差小学校

日時 令和6年10月24日（木）13時20分～14時5分

受講者 6年生 22名

◎江差町立南が丘小学校

日時 令和6年12月12日（木）13時30分～14時50分

受講生 6年生 7名

11

野菜を食べて「糖脂を燃やせ！」 野菜生活応援事業

◎1月31日の「野菜の日」に合わせ、檜山振興局において普及啓発事業を実施

- ・野菜摂取充足度測定（ベジチェック）や野菜の重量あてゲーム（1月28日実施）
- ・食堂でヘルシーメニューを提供（1月31日実施）

※昼休みを活用

◎北洋銀行店舗内に「食品に含まれる塩分量」の展示

※待ち時間を活用

◎スーパーのレシートに啓発文を掲載

※誰もが手にするもの

◎江差町野菜の日実行委員会と連携し、月1回（第3曜日）に発行する折込みチラシに「野菜の豆知識」を掲載（令和7年2月～4月）

10

「連携」と「協働」で 計画を推進！

思いをひとつに！

それぞれのアイデアや強みを生かして
健康づくり、地域づくりに乗り出そう！



12